

リュブリャーナ大学では、日本学科の学生によるスロベニア語の授業や、初級学習者向けの日本語の授業に参加しました。スロベニア語はほとんど話せない状態でのスタートでしたが、丁寧に楽しい授業のおかげで、帰国する頃には少しですが、買い物やレストランでの注文・お会計をスロベニア語でできるようになりました！日本語の授業は、初級学習者のレベルを知るいい機会になりました。

スロベニア実習「日本語・日本文化国際研修」

実習体験レポート

日程：2018年3月2日～22日

実習地：スロベニア共和国リュブリャーナ大学

参加者：舘野みなみ、大塚優芽、二橋奈緒、
山谷奏子、設楽美沙季、酒井晴香(TA)



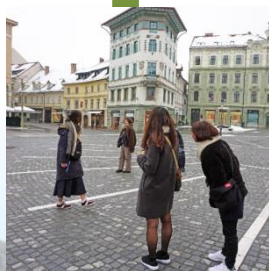
プログラムの
魅力について
私たちが
お話しします
START!

リュブリャーナ市が運営している「青少年文化センター」で、スロベニアの小中学生や高校生を対象に、日本語の授業を行いました。事前準備をしてから本番に臨みましたが、授業を受ける側のペースに合わせて臨機応変に授業進行できたのは貴重な経験でした。助数詞で神経衰弱ゲームをしたり、日本のお菓子を食べたりと楽しい時間にできたと思います。授業後は自由なおしゃべりの時間を設け、スロベニアの若い方たちの日本への興味を、実際に知ることができて嬉しかったです。



学校周辺のほとんどのレストランでは、Student boniという学生割引を使うことができ、比較的安く食事をすることができます。量が多いので、2～3人でシェアすることが多かったです。あと、スロベニアの学生は基本お酒が強いので、よく飲みに誘ってくれます。(ちなみにあちらのお酒はとても美味しいので、気をつけてください!) 学外での交流もたくさんあるので、積極的に参加すると楽しい実習になると思います。

プログラムの期間中、現地での生活が始まるとすぐに、日本学科の学生たちが様々な観光イベントを企画し、誘ってくれました。生活圏である旧市街や新市街、リュブリャーナ城はもちろん、大迫力のポストイナ鍾乳洞や風光明媚なブレッド湖にも、日本学科の学生や他大学の日本人学生と共に行きました。ジャズコンサートやオペラ鑑賞、教会巡りも思い出に残っています。ヨーロッパならではの街並みがとても美しく、登下校や町散策も素敵な時間でした。



GOAL!

参加した日本人学生はみな、リュブリャーナ大学の学生に向けて日本文化についてのプレゼンをします。私たちは半年間かけて準備をしました。スロベニアの学生たちに伝えるように、<やさしい日本語>を使ったり実演を交えたり、たくさんの工夫をしました。スロベニアの学生から「分かりやすかったよ」「面白かったよ」と言ってもらえると、言葉にできないほどの達成感を得ることができました!

